

多様な人とかかわる中で、自他のよさを認め合い、協調して学び、新たな自分を発見できる子どもの育成

学校通信 ひがしやま 第67号	発行日 令和6年12月11日(水) 発行者 別府市立東山幼稚園 別府市立東山小学校 別府市立東山中学校 校(園)長 谷川 芳明
----------------------------------	---

○5年生国語授業のゲストティーチャー(12/10)。

リクエストにより「これまでの人生で感じたこと」について、児童に話す機会がありました。

●主に話したことは①県職員としての仕事内容②影響を受けた人たち、経験の蓄積の大切さ③無理に夢を抱かなくても、将来「何者」かには成れるという心があれば大丈夫④今年度、体験学習の機会が多い理由は、経験で得たことをみんなに伝えたいと思ったから、それをやってみたいと思う先生方や保護者がいたから⑤仕事の向き、不向きはやってみないとわからない。適正は案外、周囲が判断するから⑥例えば(私みたいに)掛け算が苦手だった人も、他の人よりゆっくりでいいから、自分のペースで追いついていけば、校長くらいにはなれるから。

●最後に受けた質問で①石垣幼稚園のお誕生日会で、将来の夢をなんと答えたのか②就職した後、どんな勉強(方法)をしたのか③石垣幼稚園のお誕生日会で、将来の夢を「泥棒」といった人は今、何をしているのか④知事に説明したフリースクールの話ってどんな話⑤校長になる未来を想像していたか、校長になってよかったか等々。

●授業後、児童が書いてくれた感想を校長室に掲示しています。文書力の向上が、朗読(杜子春)の感想と比較してわかります。自分自身に結び付けて、考えていることも驚きました。

●質問に答えていて、わかったことの一つは「知事」を知らない子どもが多いことです。

★★

○2学期学校評価(保護者)アンケートのご意見から。

いただいたご意見の中から、いくつかご説明します。

- 厳しい暑さ等により、始業式が9月1日に戻らないか。
- 別府市教委は9月1日始業式を頑なに守ってきた「少数派」でしたが、今年度から他市町村に倣って夏休みを短縮しました。しかしながら、今年度、熱中症ガイドラインが発出されたことや大分市教委が来年度9月1日始業式に方針転換したことなどから、別府市小中学校校長会でも、ご質問と同様の懸念意見を別府市教委に伝えています。

- 文化祭時のステージの音が聞き取りにくかった。
- 文化祭のアンケートでも同様のご指摘がありました。音響については、ボリュームの細やかな調整などで、改善できる部分もあると考えますので、練習時に調整や児童生徒への指導など対応していきたいと思います。

- 体育大会や文化祭の時、来校者の喫煙マナーが悪いので取り締まってほしい。
- 学習成果の発表の機会ですから、来校者にも趣旨をご理解の上、喫煙により、不快な思いをされることのないよう、繰り返し、マナーの順守を促してまいります。